



第392号

2019年 7月

〒461-0004
名古屋市東区葵2丁目6-35
カトリック名古屋教区広報委員会
「教区ニュース」編集部
電話 (052) 935-2223
FAX (052) 935-2254
印刷所 株式会社 荒川印刷
毎月第1日曜日発行

7月1日
福者ペトロ岐部司祭と
187殉教者(記念)

8月6日〜15日
「日本カトリック
平和旬間」

教区ホームページ

福音の
ひびき

7月の説教者

7日 年間第14主日
ノヴァク・ボグスワフ・ジグムント
(安城教会)

14日 年間第15主日
竹谷 基
(半田教会)

21日 年間第16主日
ピリスブッレ・ジュード
(豊橋教会)

28日 年間第17主日
ナジ・エデルベルトウス
(恵方町教会)



インターナショナルミサ 元気いっぱい「はーい！」 はじける子どもたちの笑顔

子どもたちの元気が笑顔で満ちあふれるインターナショナルミサが5月19日、南山教会(新立大輔主任司祭)で行われ、松浦司教と9人の司祭が共同司式した。約40人の子どもたちと参加者が集い聖堂は満席に。難民移住移動者委員会と教会学校教師会が共催し、今年のテーマは「それぞれ いろいろ だから」。



松浦司教は参加小教区の名前を順に挙げて紹介した。子どもたちは自分の小教区の名前が呼ばれるたびに、いっせいに手を挙げて「はーい！」と元気よく返事。それに応えて、聖堂中、大拍手。遠くは石川県、富山県、福井県からの参加があった。司教は世界の大団にも紹介し、最後に「神の国に属している人！」と呼びかけると、参加者全員が「はーい！」と笑顔で応えた。

「はーい！」と笑顔で応えた。説教で司教は「皆違っていて、素晴らしいはずが、この世界は違っているという事で差別や戦争が起きている。しかし、神様の前で、皆、平等で大切な存在」と強調し、その決心を新たにすため教会に来て、しっかりと神様のもとに立ち戻る日曜日の大事さを説いた。そして、当日の福音にあるイエスの掟「あなたがたも互いに愛し合いなさい」、この言葉を、日曜日が来るごとに分かち合って大切にしようと呼びかけた。

奉納では、私たちが住む地球をイメージしたアースボール、皆が心を合わせて祈ることをイメージした大きなロザリオ、イエスが教会を託したペトロをイメージしたカギが子どもたちによって捧げられた。主の祈りは、子どもたちが祭壇を囲み、それぞれの国の言葉で一緒に唱えた。



青年バンド「A GIFTERS」のメンバー

閉祭の歌「アーメンハレルヤ」は、皆の喜びがひとつになって聖堂中に響き渡った。ミサ曲を軽快に演奏したのは、暮林響神父ら名古屋教区の青年バンド「A GIFTERS」。参加した子どもたちには木製のミニロザリオが記念品として渡された。ミサ後、持ち寄りによるパーティーが開かれた。マリヤ館には、教会学校の子どもたちによるミサ・パンフレットの表紙絵画作品が飾られ、その力作ぞろいの人々の目を引いた。

ミサに参加した子どもたちは「いろんな人がいてうれしかった」「(小2)、「年に一度集まれるので楽しみにしていた」「(小3)、「全部、楽しかった!」「(小4)、「神父様がいらっしゃるってすごいと思った」「(中1)と、それぞれ笑顔で感想を述べた。

「証し人」になろう! —キリストの愛を届けるために—
日カ連総会、名古屋で



日本カトリック女性団体連盟(日カ連)の第45回名古屋総会が5月21、22日、名古屋教区布池教会を会場に開催され、日カ連加盟団体の「樹の会」が実行委員会を立ち上げて対応した。

1日目の総会と懇親会は、ヨゼフ館にて開催され、九つの加盟団体から90人が参加し、懇親会では美味しい料理と各団体の余興が披露され、爆笑と談笑のうちに交流が深められた。

2日目は、標題のテーマ「証し人」になろう」で松浦司教による記念講演があり、名古屋教区の信徒もおよそ100人が参加した。

「証し人」になろう! —キリストの愛を届けるために—
日カ連総会、名古屋で

「証し人」になろう! —キリストの愛を届けるために—
日カ連総会、名古屋で

日カ連の活動報告をされる顧問の浜口末男司教

「証し人」になろう! —キリストの愛を届けるために—
日カ連総会、名古屋で

「証し人」になろう! —キリストの愛を届けるために—
日カ連総会、名古屋で

「証し人」になろう! —キリストの愛を届けるために—
日カ連総会、名古屋で

「証し人」になろう! —キリストの愛を届けるために—
日カ連総会、名古屋で

愛岐ブロック「兄弟の集い」120人が参加 合唱コンクールを声高らかに

熱唱！ アルデイ神父(多治見)と ニコラス神父(瀬戸)

恒例の愛岐ブロック 修道院・瀬戸・春日井・多治見・高蔵寺の各教会から120人が参加した。今年も、高蔵寺教会の主催で聖カピタニオ女子高校を会場として行われた。



今年のテーマは「共に歌い、共に神を賛美しよう！」で、合唱コンクールを声高らかに楽しんだ。決めた、高蔵寺・春日井・多治見・瀬戸教会の順に聖歌と自由曲の2曲を、それぞれが趣向を凝らし楽しんだ。

審査結果の発表を待つ間、多治見のアルデイ神父と瀬戸のニコラス神父がソロで熱唱した。会場は神を賛美するみんなの歌声で満たされた。コンクールの結果は甲乙つけがたく、それぞれの教会に表彰状と記念品が渡された。

最後にミサを捧げて、閉祭の歌「よろこびうたえアレルヤ」を大合唱して終わった。会場が集まった献金26,668円は福信館に贈ることとした。(高蔵寺教会 吉田研二)



左奥がガレキのイエス像。司教の手に片足のイエス像

松浦司教による四旬節の黙想会 五反城教会でテゼの祈り

「どんな時にも 共にいてくださる」

松浦悟郎司教を迎えて、四旬節の黙想会が4月7日、五反城教会(大)海明敏主任司教)で開かれた。

第一講話はミサの説教として行われた。司教は、今日の福音書から姦淫の罪を犯した女性について話をした。「罪を犯したのではない者が、まずこの女に石を投げなさい」とのイエスの言葉に、皆、何もしないで次々と去った。

第二講話はテゼの祈りについて行われた。司教は、この祈りを通して神様と静かに向かい合う時、テゼの歌、そして沈黙。黙想会に参加した人の中には、「司教様の話を聞いていたら、涙が出てきました」「自分も罪深い人間だ。神に立ち返り、主と共に歩むなら新しい生き方が出来る、勇気と希望を持った」と感想を述べる人がいた。

第1回信徒使徒職大会を開催 相生山徳林寺の高岡秀暢住職のお話を聴く

名古屋教区信徒使徒職協議会は、相馬司教の時代に設立されて今年で45周年を迎えた。6月8日午後1時から布池外語専門学校コンコルディアホールにて従来の委員総会に代えて、記念すべき第1回信徒使徒職大会を開催した。従来の委員による審議中心でなく、誰もが自由に参加できる形式のもと、80余人の参加があった。

前年度活動報告で「新たな活動方針として、地域の信徒使徒職情報を収集し、信徒協ニュースやホームページで紹介し、その運動を支え交流を計るなど、教区の活性化に寄与すること」が明確に示された他、決算予算と今年度計画の概要が報告された。また参加者80余人全員の地域ごとでの紹介があった。

後半は相生山徳林寺の高岡秀暢住職による話で、「10年前になります布池の由井神父さんに、アフリカの方と日本の方が住むところがないので部屋を提供してくれないかと頼まれました。徳林寺は山の中、スペースも有りませんでした。部屋提供だけならと話がまとまりました。DIYの好きな私は、仕上げることはなかなか出来ないが、手を付ける事だけは得意でしたから、すぐスタートし、完成まで3年ほど掛かりました。壁塗りなど子供達も含め大勢のボランティアの人々の方が住むところが完成にこぎ着けました。建物の名前は、妻が提案し「みんなの家」と名付けられました。」



報告すると期待している。

東日本大震災・福島原発事故、災害支援金の報告

- 発災時よりカリタス福祉委員会へ振込された支援金のご報告
・2011. 3. 17 (発災後募金開始) から2019. 5. 31までの合計 31,016,642円
- 2019年5月 振込された支援金
2件 86,640円 (振込手数料引き落とし後の金額)
振込ご協力いただいた小教区 金沢教会、高蔵寺教会
- 名古屋教区の支援金は
大阪教会管区震災復興支援プロジェクト、福島での原発被災支援活動されている団体を中心に支援しています。引き続き皆様のご支援、ご協力をお願い致します。
・毎月の支援状況は名古屋教区報で報告。
・各ベースの震災支援状況は仙台教区サポートセンター活動日記のHPに掲載。
<http://caritasjapan.jugem.jp>

〈伝言板〉
ただ今、名古屋教区内の修道院、小教区、学校、幼稚園、施設宛てに「東日本大震災・福島原発事故、追悼復興支援活動について」のアンケート調査のお願いをしております。8年が経過した現在、今までの活動を顧み今後の活動についての意見をお伺いしております。まだ、提出いただいているところは、是非とも、アンケート提出のご協力をよろしくお願い致します。

支援金振込先 口座番号：00820-5-137456 名義：カトリック名古屋教区カリタス福祉委員会 ※「東日本大震災・災害支援金」と募金の意向を記入願います	ご連絡・問合せ先 名古屋教区カリタス福祉委員会 電話 052-852-1426 FAX 052-852-1422
--	--

「マリア祭」開かれる 聖母マリアを讃え、祝う

聖母の訪問の祝日5月31日、あま市の神の愛の宣教師会名古屋修道院(ジョセリア院長)の庭でマリア祭が開かれ、約60人の参加者が聖母マリアを讃え祝った。



向かって右はしが武井神父

助けられると信じ切ること、と強調した。ミサ中、小雨だった天気はミサ後には止み、修道院のそばの田を一周して「喜びの神秘」一環を唱え、聖母マリアに想いを巡らせた。

信仰をつむぎ、信仰をつなぐ

一粒会委員総会開催について

報告

5月19日名古屋教区センターにて一粒会委員総会が開催された。指導司祭を含む委員数、総勢54人のところ、出席者45人と今までの最高となった。これは昨年、信者全員が会員となる制度変更後、委員各自の一粒会活動への関心が高まったことと表れであると思う。

しかし一方で、毎月第1日曜が「一粒会の日」と宣言して承認され、召命の祈りや、献金への啓蒙など、各小教区で委員が頑張っていることは、今後一粒会の活動をより活発にする原動力となる。

【収支報告】
収入の大きな柱である一粒会献金について、従来、年間献金総額700万円から750万円の推移であったのが、2018年度は特別献金も含め1,400万円となった。

【活動報告】
新制度になって1年経過の振り返りとなったが、「東海地区・集い」「北陸地区・集い」のほか、委員総会、運営委員会のみと記載する活動は少なくなった。

これは有志会員の時は、会員数拡大が大きな活動であったが、それが不要になったためである。

聖霊病院第84回春の聖書展

「信仰をつなぐ心」

今年も聖霊病院春の聖書展が第84回目を迎え5月20日〜22日の3日間開催された。テーマは、「信仰をつなぐ心」となった。これは、名古屋教区の取り組みより、わたしたちカトリック社会事業室は

共に信仰をつなぐ、つないでいくという思いからこのテーマとした。恒例のチャリティーバザーは3日間、多くの方々の寄付で出された品物が並んだ。北海道伊達カルメル会修道院のクッキーとハラ

ユニティのコーヒーは常連のお客様さんから好評を得、口コミで広がっている。20日夕方には「聖書の集い」が催され、神言会神学生、マリオ・

フランシスコ・チェメ・オア・ポア神学生が「キリストと教会の神祕の中の神の母、母なるおとめマリア」をテーマに話され、参加者と共に分かち合いをした。22日15時30分からは Grace of the Holy Spirit (病院職員)のコンサートが開催され、約70人の患者、外来者、職員が鑑賞した。毎回、来られる方々の心に響く音楽を奏で、癒しの場となっている。その他にも、華道部の生け花展示、テーマをもとにした掲示が1階と2階に設置された。

ここに訪れてくださった方々の心に神のやさしさ、あたたかさ、美しさ、など何かを感じ取っていただけていれば幸いです。



今年も聖霊病院春の聖書展が第84回目を迎え5月20日〜22日の3日間開催された。テーマは、「信仰をつなぐ心」となった。



「楽しくなければ福祉じゃない」をモットーとして、障がい者の自立支援を行っているAJU自

第34回わだちまつり

今年も盛大に!!

33・3度の中大盛況!

「楽しくなければ福祉じゃない」をモットーとして、障がい者の自立支援を行っているAJU自

カルメル修道会 土曜静修 in 名古屋

—カルメル会士とともに過ごす聖母の土曜日—
日時 7月6日(土) 13:00~17:00
講話・黙想・ミサ・教会の祈りなど。
場所 カルメル修道会 日比野(本部) 修道院 (カトリック日比野教会)
交通 地下鉄名港線 日比野駅下車 徒歩約8分
その他 参加の事前連絡は不要。直接お越し下さい。当日は千円程度のご寄付をお願いします。ゆるしの秘跡にあずかることができます。
問合せ 男子跣足カルメル修道会 一日静修係 FAX 052-681-6445 E-mail: hibino@carmel.or.jp

主にささげる24時間~聖体礼拝

主税町記念聖堂では月に2回、聖体礼拝が行われています。開始時と終了時にミサが行われます。どうぞご参列ください。
日時 毎月第2・第4木曜日 木曜日19:00~金曜日19:00
場所 主税町記念聖堂 名古屋市東区主税町3-33
主催 カトリック名古屋教区
問合せ 名古屋教区本部事務局 ☎052-935-2223
責任者 平田政信神父 携帯電話090-1623-1170

19年度 教区正義と平和委員会 学習会

サヨナラ!! 「今だけ カネだけ 自分だけ」
—平等と公正、連帯と民主主義の実現へ—
第2回 故郷を守ろうとした住民の記録



講師 東ヶ丘の環境を守る会・卯の里の里山を守る会代表 小野裕子 (カトリック半田教会信徒)
日時 8月17日(土) 13:30~16:00
場所 福信館 名古屋市東区葵2-6-29 カトリック布池教会東
問合せ 正義と平和委員会 ☎052-935-7180

〈学習会予定〉
第3回 10月19日(土) 13:30~
テーマ 福島原発事故の今、放射線・避難生活
講師 大沼淳一 (元愛知県環境調査センター) 避難生活当事者

カトリック名古屋教区

平和の集い

Gathering of prayer for PEACE

テーマ「戦争しない・させない」

日時 8月11日(日) 13:30~17:00
会場 名古屋カトリックカトリック布池教会 名古屋市東区葵1丁目12-23
内容 13:30~第1部 シンポジウム
講演 水野晴仁氏(戦争を語り継ぐ会)、他、若者との対話
15:30~第2部 平和祈願ミサ
主司式 松浦信郎司教
問合せ 名古屋教区社会福音化推進部 ☎052-935-7180 (福信館)
駐車場 駐車台数が限られていますので公共交通機関をご利用ください。

必要があったためであるが、大いに好評であった。今までは委員全員が前を向いての総会が、プロ

—福音化の歩みのために—

新刊書

「永井隆の十字架の道行」

絵 永井 隆
解説 結城 了悟
発行 サンパウロ
¥1,296 (税込)



白血病のため病臥していた永井隆博士は、如己堂と呼ばれる二畳ほどの建物の中で二人の子どもと生活しながら、『長崎の鐘』、『この子を残して』など数多くの著書を書いた。だが彼が残したものは書籍だけではなく、本書はカトリック信徒であった永井隆博士が自らの死を覚悟し、「十字架の道行」と呼ばれるキリストの死に至る十四の場面を、実弟永井元の助けを借りながら描いたと言われる絵画について、長年キリシタン研究を重ねて日本に帰化したイエズス会司祭、結城了悟神父が解説したものである。

